

# 後期研修プログラム

## I. 研修の概要

当科（精神神経科・ストレス科）は、新宿副都心の高層ビル街にある東京医科大学病院内に、32床の閉鎖病床と1床の一般病床を持つ。約30人/月の新入院患者および約3,600人/月の外来患者の診療にあたり、また総合病院の精神科として約40人/月の患者に対しコンサルテーション・リエゾン活動を行っている。そのため、うつ病や統合失調症をはじめ、摂食障害や人格障害の診療から、器質性・症状性の精神障害に対する診療など、幅広い研修を行うことができる。さらに研修終了時には、精神保健指定医の資格が取得できるように、関連病院での研修も行っている。

## II. 応募資格・審査方法・および研修期間

### 1. 応募資格

原則として、初期研修修了者。

募集人員：5名まで

### 2. 採用審査

資料と面接により審査委員（教授、医局長、講師ほか）研修受け入れ可能かどうか審査致します

### 3. 研修期間

3年間（関連病院への研修期間を含む）

## III. プログラムの概要

プログラム名：標準精神科医師育成コース

### 【1年目】

大学病院において、診療チームに配属され、指導医のもとで、主治医の一人として主に入院患者の検査・診断・治療を行っていく。また外来においても救急対応や初診患者に対するの予診、陪席などを行う。

### 【2年目】

関連病院において、急性期から慢性期、外来から入院さらに社会復帰へと精神科治療のさまざまな局面について指導医のもとで学ぶ。また、精神保健指定医の取得のための事例を受け持ち、精神保健福祉法の実際の運用についても学ぶ。

### 【3年目】

大学病院において、指導医のもとで診療にあたるほか、学生・初期研修医・後期研修

1年目医師などの指導にもあたる。精神保健指定医の申請も行う。また外来での診療にも携わる。

\*3年間を通して、臨床で得られた経験などを学会等で発表し、論文を作成する。

#### IV. 身分・待遇

##### 【1年目】

臨床研究医。東京医科大学病院の規定による月額20万円の給与と宿日直手当が支給される。週一日の研究日が与えられ、3ヶ月目より、研究日のアルバイトを認める。アルバイト先として医局より関連病院を紹介することも可能。日曜などの病院の業務のない日に関するアルバイトは別途認める。関心のある学会等への参加に制限はない、むしろ積極的に発表することが望ましい。

##### 【2年目】

派遣先の関連病院においては常勤医師の待遇。給与は各病院の給与基準による(年収約1000万円ぐらい)。

##### 【3年目】

臨床研究医。東京医科大学病院の規定による月額20万円の給与と宿日直手当が支給される。週一日の研究日が与えられ、研究日のアルバイトを認める。アルバイト先として医局より関連病院を紹介することも可能。日曜などの病院の業務のない日に関するアルバイトは別途認める。関心のある学会等への参加に制限はない、むしろ積極的に発表することが望ましい。

#### V. 研修施設

##### 【1年目】

東京医科大学病院精神神経科・ストレス科

##### 【2年目】

関連病院(千葉県, 茨城県, 栃木県, 静岡県, 新潟県などにある指定病床のある病院)

##### 【3年目】

東京医科大学病院精神神経科・ストレス科

#### VI. 研修目標

##### 1. 精神科およびストレス科診察

##### 【一般目標(GIO)】

診断面接により主要な精神障害の診断・鑑別を行うことができる。

##### 【行動目標(SBOs)】

- (1)基本的な態度・面接法を習得する。
- (2)主な精神症状を把握し、診療録に記載できる。

- (3)世界的によく用いられる精神障害の分類(ICD-10 や DSM-IV)について理解し、活用できる。
- (4)病状について、適切に患者および家族に説明ができる。
- (5)統合失調症患者を診察してその症状を把握できる。
- (6)気分障害患者を診察してその症状を把握できる。
- (7)神経症性障害患者を診察してその症状を把握できる。
- (8)老年痴呆患者を診察してその症状を把握できる。
- (9)中毒性精神障害患者を診察してその症状を把握できる。
- (10)器質性・症状性精神障害患者を診察してその症状を把握できる。

## 2. 検査

### 【一般目標(GIO)】

精神科における基本的な検査について理解し、実施できる。

### 【行動目標(SBOs)】

- (1)診断に向けて必要な検査計画を立てることができる。
- (2)検査について患者および家族に適切なインフォームド・コンセントが行える。
- (3)脳波検査：主要な異常所見を解読でき、所見を記載できる。
- (4)画像診断：主要な異常所見を読影でき、所見を記載できる。
- (5)心理検査：主要な心理検査についてその概要を理解し、適切な検査バッテリーを組むことができる。

## 3. 治療

### 【一般目標(GIO)】

精神科における基本的な治療について理解し、実施できる。

### 【行動目標(SBOs)】

- (1)症例ごとに適切な治療計画が立てられる。
- (2)各種治療法について患者および家族に適切なインフォームド・コンセントが行える。
- (3)薬物療法：
  - ①主要な向精神薬の薬理作用を理解し、標的症候を決定し、投与計画を立てられる。
  - ②副作用について理解し、副作用出現時に適切に対応ができる。
- (4)精神療法：
  - ①各種精神療法についてその理論・技法の概要を理解し、その適応を判断できる。
  - ②治療面接を体験し、医師－患者関係に生じる現象について理解する。
- (5)その他身体療法：
  - ①電気けいれん療法について、その適応を理解し、適切に実施できる。

(6) チーム医療：

- ① 看護師，臨床心理士，薬剤師，ソーシャルワーカーなど異職種と協力し治療を行える。
- ② リエゾン医療の現場で，他科のスタッフなどと適切にコミュニケーションが取れる。

(7) 精神保健福祉法：

- ① 精神保健福祉法を理解し，入院形態，隔離・拘束など法律に遵守した行動がとれる。

(8) 精神科救急：

- ① 精神科救急医療の実務に関与し，適切な初期対応ができる。

Ⅶ. 研修方法・週間予定・指導スタッフ

1. 週間予定(概略)

	月	火	水	木	金	土
8:30～	病棟カフェラッソ					
9:00 ～ 10:00 ～ 11:00	外来 陪席 予診 予約外診療 病棟業務	外来 陪席 予診 予約外診療 病棟業務	外来 陪席 予診 予約外診療 病棟業務	外来 陪席 予診 予約外診療 病棟業務	外来 陪席 予診 予約外診療 病棟業務	外来 陪席 予診 予約外診療 病棟業務
12:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:00 ～	外来 陪席 予診 予約外診療 病棟業務)	外来 陪席 予診 予約外診療 病棟業務	外来 陪席 予診 予約外診療 病棟業務	外来 陪席 予診 予約外診療 病棟業務	外来 陪席 予診 予約外診療 病棟業務	リエゾン 病棟業務
14:00 ～	教授回診					カフェラッソ
15:00 ～	外来 陪席 予診 予約外診療 病棟業務 リエゾン	外来 リエゾン 病棟業務	外来 リエゾン 病棟業務	外来 リエゾン 病棟業務	外来 リエゾン 病棟業務	
16:00 ～ 17:00	症例検討会・ 抄読会参加	リエゾン 病棟業務	リエゾン 病棟業務	リエゾン 病棟業務	リエゾン 病棟業務	
夜間	救急診療 夜間病棟診療	救急診療 夜間病棟診療	救急診療 夜間病棟診療	救急診療 夜間病棟診療	救急診療 夜間病棟診療	

2. 診療チームの構成

精神科病棟では病棟医長を中心として，3～4チームの診療チームが構成されている。

1 チーム 3～4 人のメンバーで、半年に一度メンバーの入れ替えが行われる。コンサルテーション・リエゾン業務は曜日ごとにそれぞれの当番の班が担当し、診療にあたっている。

### 3. 指導スタッフ

指導責任者：教授 飯森 眞喜雄

指導医：助教授 -

講師 宮川 香織，丸田 敏雅

助手 山城 尚人，木村 智城，田原 雅士，山手 威人，  
伊藤健太郎，榎屋 二郎，岡田 早苗，清水谷真宏，  
松下 兼明，池田 憲彦，佐藤 光彦，本杉 真帆，  
石川 純，松本 恭典

医局員総数： 20 名(派遣中の医師を除く)

精神保健指定医数： 10 名(派遣中の医師を除く)

臨床心理士： 1 名

臨床心理研修生： 13 名

(上智大学，東洋英和女学院大学，駒澤大学などから)

臨床検査技師： 1 名

(平成 18 年 5 月 1 日現在)

## Ⅷ. 資格取得

主要なものは，

厚生労働省認定の国家資格である，精神保健指定医

日本精神神経学会認定の，精神科専門医

後期研修終了後は 精神科専門医指導医

## Ⅸ. 学位

大学院からの修得も可能だが，

大学院によらない博士論文による学位の取得を，積極的に援助している。

## X. 後期研修終了後の進路

教室に残り，努力しだいで適性が認められれば助手，講師への道がある。

現在，国内で精神科医は不足しており，精神病院からの求人は多い。特に精神保健指定医の需要は多いので，就職先に困ることはない。また，クリニックの開業をする医師も多数いる。